

田原市学校図書館運営研修会

「授業に役立つ学校図書館ーコレクションから考えるー」

平成28年8月19日 於：田原市文化会館

講師に東京学芸大学附属小金井小学校司書・中山美由紀先生をお迎えし、各小中学校の図書館主任、学校司書、田原市中央図書館関係職員が参加して、田原市学校図書館運営研修会が開かれました。

中山先生は、これまでに、小学校・中学校・高校、また、公立・私立・国立といった様々な学校の図書館に勤務し、「先生のための授業に役立つ学校図書館活用データベース」を運営されたり、『困った時には図書館へ2』などを出版されたりしています。よりよい図書館運営のあり方について、その豊富な経験を生かした、様々な角度から切り込んだお話を聞くことができ、充実した研修会になりました。

《わかったこと・学んだこと》

(1) 学校図書館の歴史と変遷

(2) 図書館の役割について

① 子ども達に情報の使い方を教える場

- ・ 同じ本やセットものをそろえるのではなく、様々な出版社の本を並べ、読み比べできるようにすることが大切。

② 学習活動の場

- ・ 本を集める際には、年間学習指導計画やカリキュラムを把握し、どんな「ねらい」の授業で使うのか、キーワードとなる言葉は何かなどを共通理解しておかないと、選書がずれてしまう。
- ・ 古くても価値のある本（地域に伝わる話や偉人などノンフィクションの本）は、処分せずに大切に保存する。

(3) 私たちの抱える図書館の悩み解決

- ・ 使いやすい、利用したくなる図書館にするための環境整備
- ・ 学校司書と学級担任の連携について

など

(4) すぐに実践できるアイデア

① 同じ日の各社の新聞を並べて掲示して情報リテラシーを学ばせる方法

② ホワイトボードを活用したスケジュール表

など

《参観者の声》

○幅広いコレクションにするなど、図書館の基本となることを学ぶことができ、ためになりました。図書館を活用するために、司書教諭と司書がしっかり話し合う時間をもちたいと思いました。

○図書室で授業をすることで、子どもたちが図書室へ行きやすくなることを知り、これから1時間でも多く、図書室で授業を試してみようと思いました。

